

定例市長記者会見録

日 時：6月25日(金) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一 宮 市 中野市長、福井副市長

報道機関 朝日新聞、中日新聞、読売新聞、中部経済新聞

本日の案件は5つです。

1番目は「道路冠水情報等の見える化 ～豪雨時の情報提供をより迅速に～」です。災害時、市の災害対策本部には、道路が水浸しになり車が通行できない道路冠水の情報、数多く集積されます。また、道路交通を主管する警察や停電対策等で災害時に市内を巡回する中部電力パワーグリッドにも道路冠水情報が集積します。そこで、この3者の情報を組み合わせ、インターネットの地図上に表示するサービスを開始します。市と関係機関が連携して行うのは県内初となります。市民の安心・安全に寄与することを期待しています。

2番目は「『町内会DX』に向けた実証実験を行います」です。町内会活動においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議や回覧板の配布といった機会を減らしたいという要望が増えています。そこで、株式会社デンソーさんの協力をいただき、7月5日から約2週間、町会長約50名に市ウェブサイト新着情報や会議開催の案内・出欠席の確認、気象警報の発令情報などをお知らせする実証実験へのご協力をいただきます。2週間という限られた期間ですので、仮想状況を想定したやり取りも行います。今回、町内会に配布するタブレット端末に搭載される「ライフビジョン」は、デンソーさんが開発したシステムで、とても使いやすい画面構成です。一部で紙資料との併用という状況にはなりますが、町会長への通知の電子化について、経過的にはこのシステムでよいと考えています。さらに、今回、タブレット端末を配布することにより、各町内会へ配布する回覧物の電子化や、市とのやり取りのメール化など町内会とのやり取りのICT化についてのご要望も予想されますので、様々な面でのご意見を頂戴できればと考えています。

3番目は「アメリカ合衆国女子シッティングバレーボール代表チームからのメッセージ動画を七夕ビジョンで放映！！」です。アメリカ合衆国女子シッティングバレーボール代表チームからメッセージ動画をいただきましたので、6月28日月曜日からi-ビル1階コンコース大型ビジョンと、市公式YouTubeで配信します。チームの受け入れにつきましてはホストタウンとして、国や県、保健所とも相談し、感染対策には細心の注意を払いながら準備しています。障害者スポーツが地域に認識される良い機会ですので、ぜひ交流したいと考えています。

4番目「神田眞秋氏と谷一夫氏を名誉市民に」につきましては、既に議会にて承認を得たものです。

5番目は「市長の資産等の公開」につきましては、昨年公開時から特に変動はありません。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

■『町内会DX』に向けた実証実験を行います

(記者) 今回は実証実験ですが、実際に導入すると多額の予算が必要になると思います。実際に導入するとなった場合は、どのような配布方法を想定されているのでしょうか？

(市長) 今回約 50 名の方を対象に実証実験を行い、その反応を見て決定します。タブレット端末配布した場合、端末代金 1 台およそ 5 万円と、ランニングコストとなる通信費が必要となります。高齢の方の中には、紙での情報提供を希望される方もいらっしゃると思います。約 800 町内会のうち 100 町内会が希望されたとして、タブレット端末 500 万円に通信費をプラスして、実際にこれをどのように運用するかを準備していこうと思っています。

(記者) 希望される町会長に配布し、補助金で行うのですか？

(市長) 補助金を出すのではなく、小中学生のタブレット端末と同様に、市が買ったものを貸与する方式が現実的だと考えます。長期的には、町内会でもデジタル化は進んでいくと思いますので、実際に使って興味を持っていただき、その先鞭をつけていただけたらと思います。

(記者) 県内の自治体で、同じような実証実験を行っている自治体はありますか？

(市長) デンソーさんがこのシステムで実証実験をしたのは、千葉県と熊本県です。

(担当) 県内でタブレットを利用した実証実験を行っている自治体はありません。刈谷市が、このシステムのアプリを導入しています。

■アメリカ合衆国女子シッティングバレーボール代表チームからのメッセージ動画を七夕ビジョンで放映！！

(記者) 市民交流はあるのですか？

(市長) パブリックビューイングは、知事より指示があり中止とします。市民との交流は 9 月の中旬を予定していますので交流できることを期待しています。ビデオ交流はしていますが、百聞は一見に如かずで、障害があっても凄いプレーができる事を市民が実際に見られる機会を望んでいます。

■神田眞秋氏と谷一夫氏を名誉市民に

(記者) 名誉市民に贈られる名誉市民章とは、どのようなものですか？

(市長) 純銀製で、菊葉の内側に菊花をあしらひ、その内側に旭光を配置し、一番内側に市章をデザインしたものであります。

(記者) 名誉市民関連の予算額 1,278,000 円のうち、名誉市民章の予算額 1,078,000 円は、適正なのでしょうか？

(市長) 名誉市民章は、オーダーメイドで2個分の予算になります。これは、代々、作ってきたものと同じものになります。

(担当) この金額は予算額であり、今後、入札を行いますので価格は予算額を下回ると思います。

(記者) 市長で、名誉市民になられた方はどなたですか？

(市長) 吉田萬次氏と戦後公選で選ばれた市長の伊藤一氏、森鉦太郎氏です。

■新型コロナワクチン接種関連

記者会見の冒頭で市長より、次の説明がありました。

(市長) 本日、ワクチン接種の関係をお伝えする予定でしたが、国の対応に大きな変化がありましたので、お伝えすることができなくなりました。市の方向性としては、7月後半以降の64歳以下のワクチン接種に向けて、集団接種の会場を増やす準備をしています。65歳以上のワクチン接種については、スタートダッシュは遅れましたが、順調に接種が進み昨日現在で接種率が6割を超えました。状況が落ち着きましたら、我々の考えをお伝えします。

(記者) 学生など若年層へのワクチン接種日程の前倒しは考えていますか？

(市長) 保健所長、市民病院や医師会の先生に聞いていますが、若年層を前倒しした方が良いという確信はありません。また65歳以上の方への接種が遅れていたことも関係しています。

(記者) 65歳以上の方への接種は、7月末で終わりますか。

(市長) 現在、1回目の接種が6割以上終了しているので、7月末には希望される方への接種は終了すると考えています。

■中学生自死事案に関する審理について

(記者) 原告側の弁護士から、市側と和解できそうだと聞きました。市側も同様にお考えですか？

(市長) 裁判は、重要な局面を迎えていると認識しています。尊い命が失われてから4年以上が経ちます。できるだけ遠くない時期に、ひとつの節目が迎えられることができれば良いと思います。